

平成25年1～3月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業(個人経営の事業所)の業況判断D I

- ① 今期の業況判断
今期(平成25年1～3月期)の業況判断D Iは(-)67.3で、前期(平成24年10～12月期)(-67.5)に比べ、0.2ポイントの改善。
- ② 来期の見通し
来期(平成25年4～6月期)の業況見通しD Iは(-)57.8で、今期の業況判断(-67.3)に比べ、9.5ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 -調査産業計-

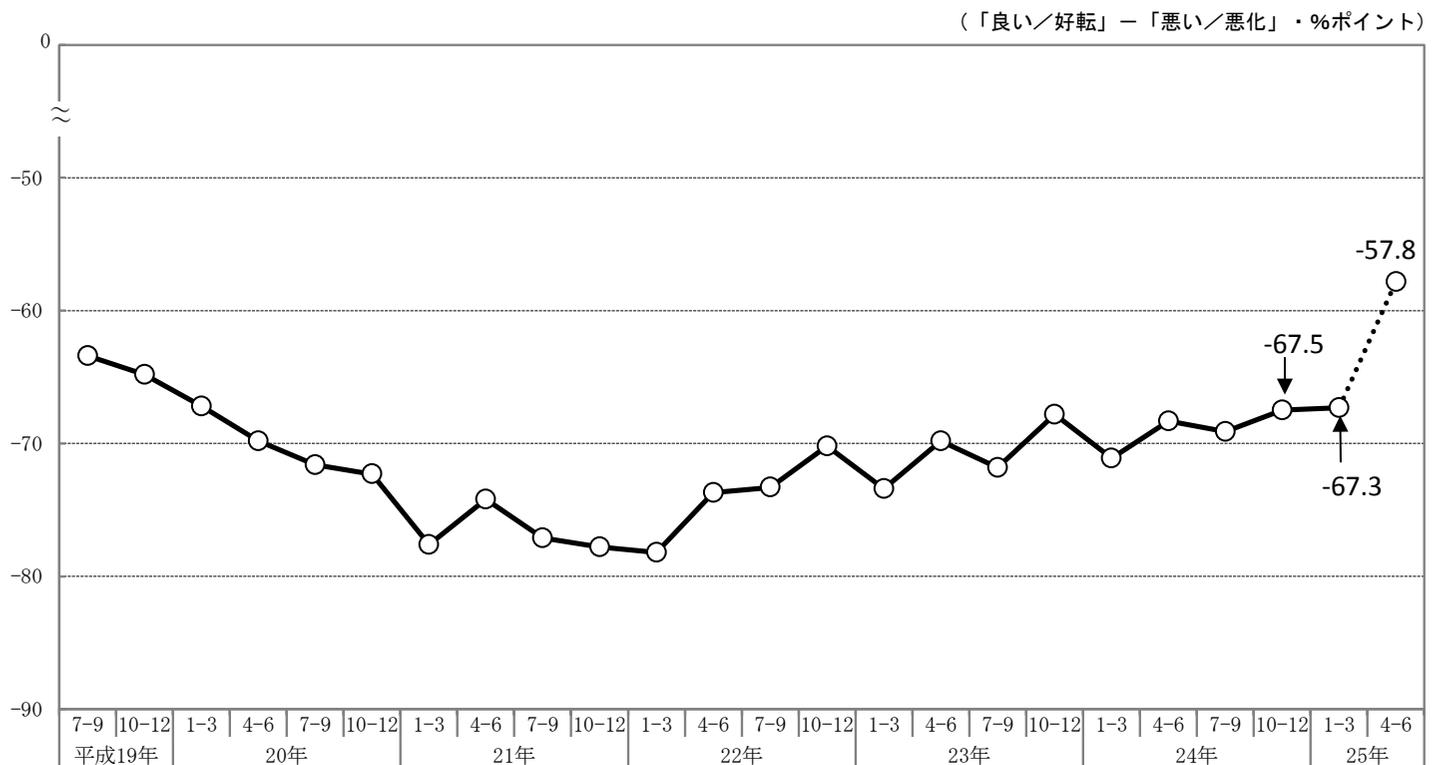


表1 業況判断の割合 -調査産業計-

	平成24年				25年	
	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期	4～6月期 見通し
今期の業況, 来期の業況 (%)						
良い/好転	2.6	2.5	2.0	3.5	2.8	3.7
普通/不変	23.7	26.6	27.0	25.6	27.2	34.8
悪い/悪化	73.7	70.8	71.1	71.0	70.1	61.5
D I	-71.1	-68.3	-69.1	-67.5	-67.3	-57.8
参考						
日銀短観(大企業全産業計)	0	3	2	-3	-1	4
中小企業景況調査(全産業計)	-41.3	-35.2	-36.7	-38.3	-38.8	-12.2

(注) 「中小企業景況調査」：(独) 中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成25年4月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

① 今期の1事業所当たりの売上高は、	
□「製造業」は	208万6000円で、前年同期に比べ、16.1%の減少
□「卸売業、小売業」は	394万8000円で、前年同期に比べ、0.2%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	205万8000円で、前年同期に比べ、4.8%の増加
□「サービス業」は	123万2000円で、前年同期に比べ、11.8%の増加
② 今期の1事業所当たりの営業利益は、	
□「製造業」は	56万3000円で、前年同期に比べ、11.1%の減少
□「卸売業、小売業」は	36万8000円で、前年同期に比べ、4.4%の減少
□「宿泊業、飲食サービス業」は	38万3000円で、前年同期に比べ、5.5%の増加
□「サービス業」は	42万7000円で、前年同期に比べ、7.8%の増加

※前年同期(平成24年1～3月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

		(1事業所当たり)								
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業		
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
実数 (千円)	平成23年	1～3月期	2,042	581	4,099	453	2,060	361	1,221	399
		4～6月期	2,059	621	4,143	434	2,128	394	1,279	497
		7～9月期	2,108	615	4,341	473	2,192	446	1,248	458
		10～12月期	2,364	674	4,477	447	2,113	400	1,301	505
	平成24年	1～3月期	2,485	633	3,957	385	1,963	363	1,102	396
		4～6月期	2,495	606	4,278	415	2,086	348	1,204	447
		7～9月期	2,332	612	4,201	433	2,164	354	1,171	416
		10～12月期	2,682	765	4,431	435	2,189	390	1,291	463
	平成25年	1～3月期	2,086	563	3,948	368	2,058	383	1,232	427
前年同期比 (%)	平成23年	1～3月期	-4.6	-1.7	11.7	17.7	-5.5	-13.8	-3.7	-9.9
		4～6月期	-23.0	6.2	0.6	-12.1	-3.2	0.0	-8.5	-5.9
		7～9月期	-16.0	-5.8	9.5	-7.6	1.9	12.6	-4.2	-3.4
		10～12月期	-10.0	-4.4	-2.0	-17.8	-8.0	-6.5	-1.9	7.0
	平成24年	1～3月期	21.7	9.0	-3.5	-15.0	-4.7	0.6	-9.7	-0.8
		4～6月期	21.2	-2.4	3.3	-4.4	-2.0	-11.7	-5.9	-10.1
		7～9月期	10.6	-0.5	-3.2	-8.5	-1.3	-20.6	-6.2	-9.2
		10～12月期	13.5	13.5	-1.0	-2.7	3.6	-2.5	-0.8	-8.3
	平成25年	1～3月期	-16.1	-11.1	-0.2	-4.4	4.8	5.5	11.8	7.8

3 今期の設備投資額

① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、	
□「製造業」は	6万5000円で、前年同期(7万9000円)に比べ、減少
□「卸売業、小売業」は	10万円で、前年同期(4万9000円)に比べ、増加
□「宿泊業、飲食サービス業」は	6万4000円で、前年同期(5万3000円)に比べ、増加
□「サービス業」は	12万5000円で、前年同期(5万6000円)に比べ、増加
② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、	
□「製造業」は	3.1%で、前年同期(3.2%)に比べ、0.1ポイントの低下
□「卸売業、小売業」は	2.5%で、前年同期(1.2%)に比べ、1.3ポイントの上昇
□「宿泊業、飲食サービス業」は	3.1%で、前年同期(2.7%)に比べ、0.4ポイントの上昇
□「サービス業」は	10.1%で、前年同期(5.1%)に比べ、5.0ポイントの上昇

※前年同期(平成24年1～3月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

		(1事業所当たり)							
		製造業		卸売業、小売業		宿泊業、飲食サービス業		サービス業	
		設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)	設備投資額 (千円)	設備投資率 (%)
平成23年	1～3月期	128	6.3	82	2.0	48	2.3	48	3.9
	4～6月期	94	4.6	65	1.6	74	3.5	34	2.7
	7～9月期	45	2.1	82	1.9	59	2.7	70	5.6
	10～12月期	76	3.2	86	1.9	121	5.7	83	6.4
平成24年	1～3月期	79	3.2	49	1.2	53	2.7	56	5.1
	4～6月期	94	3.8	76	1.8	64	3.1	101	8.4
	7～9月期	100	4.3	71	1.7	115	5.3	91	7.8
	10～12月期	131	4.9	60	1.4	64	2.9	74	5.7
平成25年	1～3月期	65	3.1	100	2.5	64	3.1	125	10.1

II 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年1～3月期）の業況判断DIは(-)67.3で、前期（平成24年10～12月期）(-67.5)に比べ、0.2ポイント改善した。

イ 前期と比較した業況判断DIは(-)57.0で、前期(-48.1)に比べ、8.9ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)55.2で、前期(-58.9)に比べ、3.7ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年4～6月期）の業況見通しDIは(-)57.8で、今期の業況判断(-67.3)に比べ、9.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断DIの推移 -調査産業計-

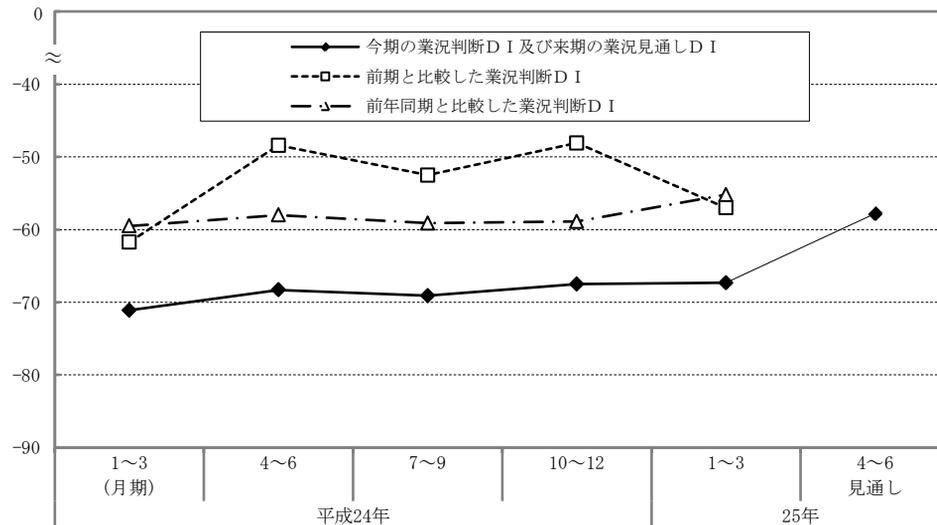
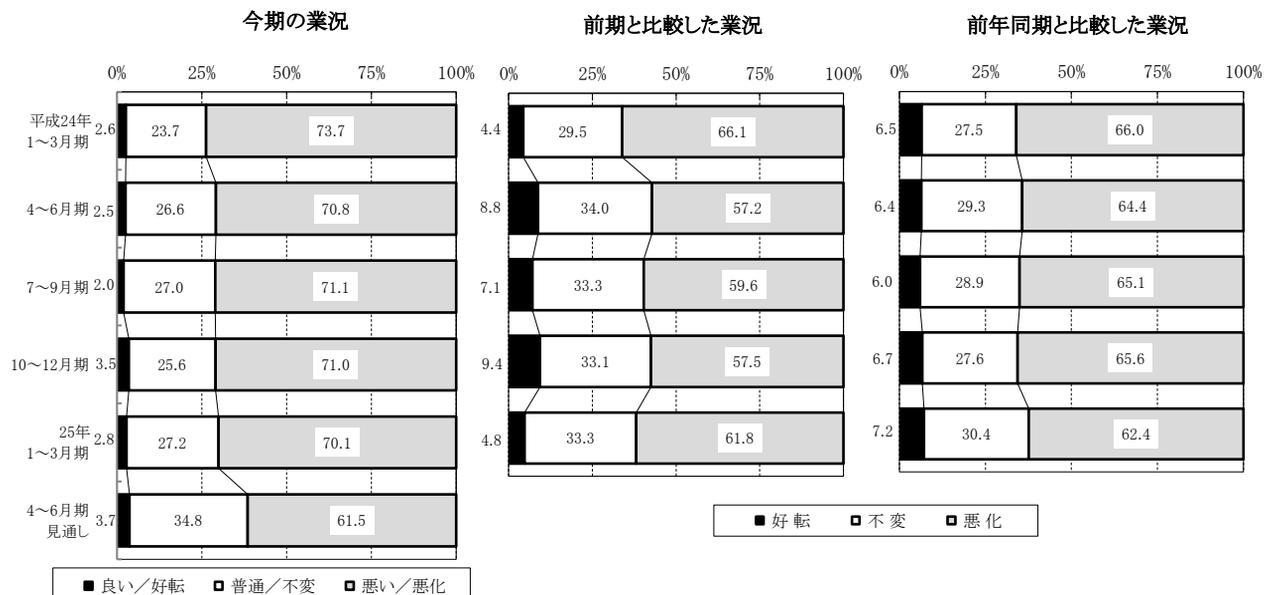


図3 業況判断の割合 -調査産業計-



(2) 売上の状況

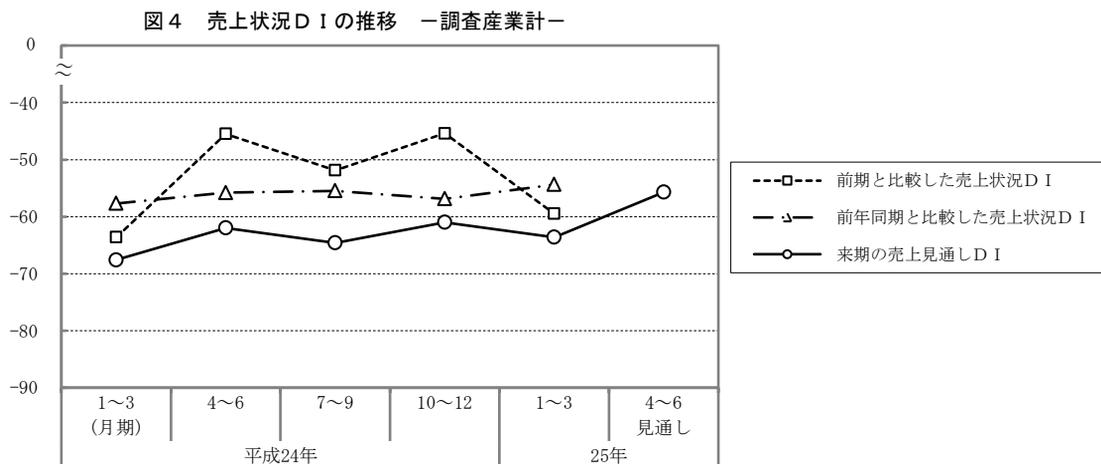
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは(-)59.5で、前期(-45.4)に比べ、14.1ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)54.4で、前期(-56.9)に比べ、2.5ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)55.7で、前期における今期の売上見通し(-63.6)に比べ、7.9ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

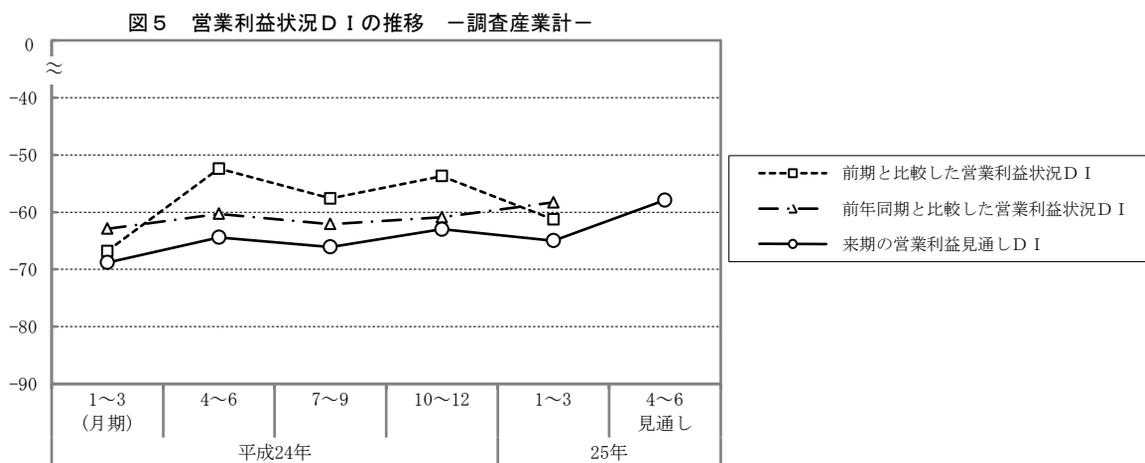
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)61.3で、前期(-53.7)に比べ、7.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)58.3で、前期(-60.9)に比べ、2.6ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

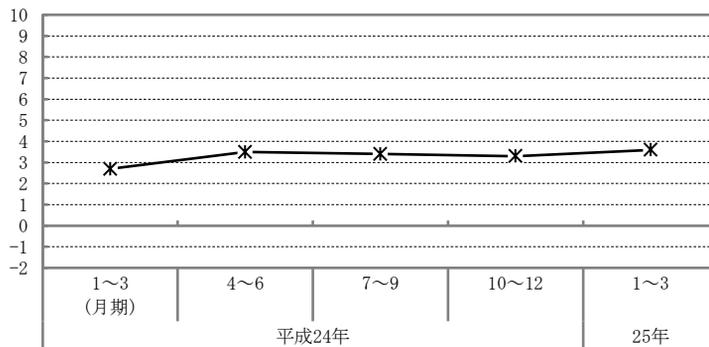
来期の営業利益見通しDIは(-)57.9で、前期における今期の営業利益見通し(-65.0)に比べ、7.1ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 3.6 で、前期(+ 3.3)に比べ、 0.3 ポイント「過剰」が拡大した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

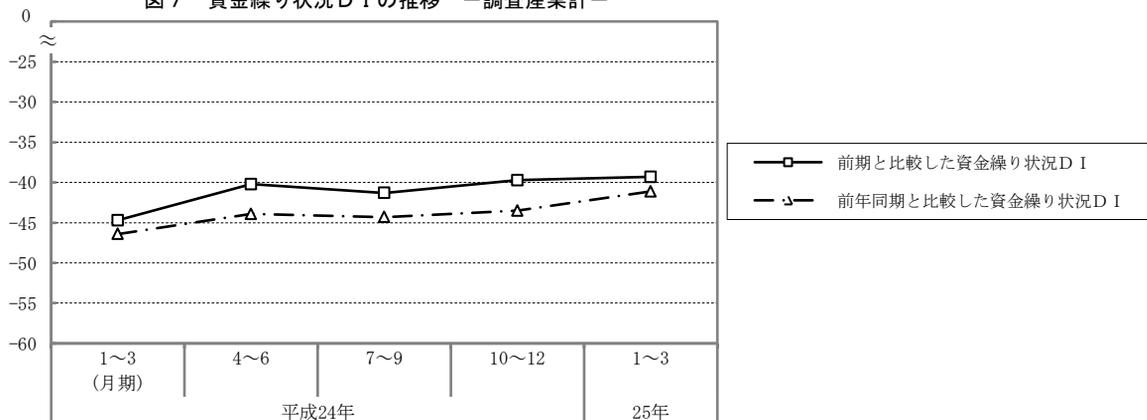


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 39.3 で、前期(- 39.7)に比べ、 0.4 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 41.1 で、前期(- 43.5)に比べ、 2.4 ポイント改善した。

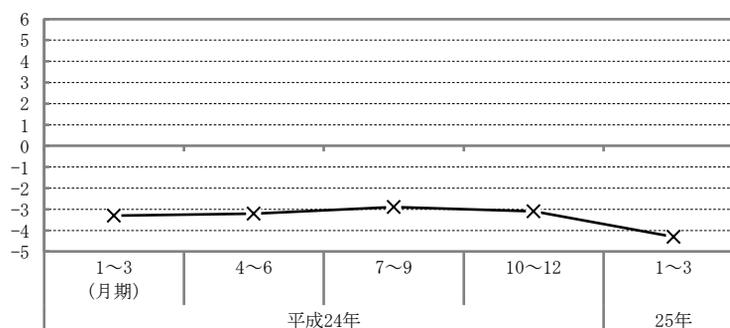
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 4.3 で、前期(- 3.1)に比べ、 1.2 ポイント「不足」が拡大した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年1～3月期）の業況判断DIは(-)60.4で、前期（平成24年10～12月期）(-55.4)に比べ、5.0ポイント悪化した。

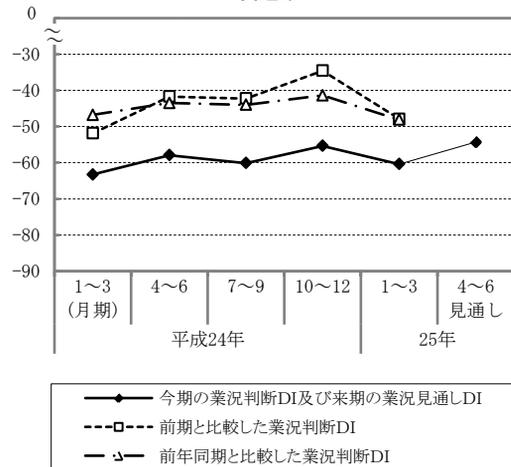
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.9で、前期(-34.6)に比べ、13.3ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)48.1で、前期(-41.4)に比べ、6.7ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年4～6月期）の業況見通しDIは(-)54.3で、今期の業況判断(-60.4)に比べ、6.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

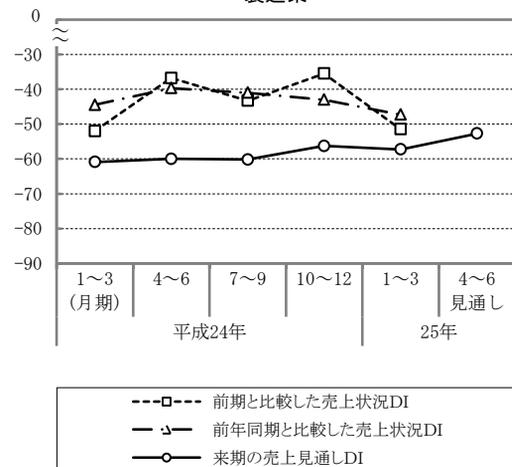
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)51.5で、前期(-35.5)に比べ、16.0ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)47.3で、前期(-43.0)に比べ、4.3ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)52.7で、前期における今期の売上見通し(-57.3)に比べ、4.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

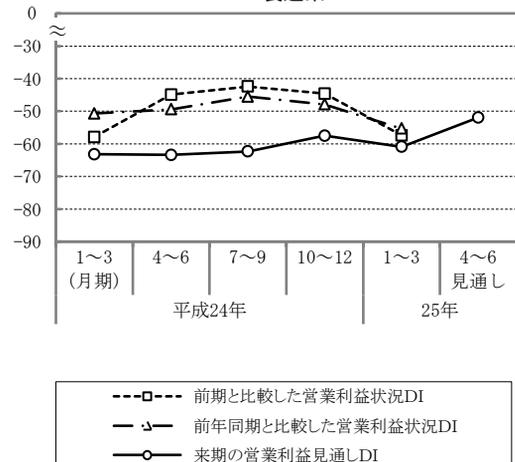
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)57.4で、前期(-44.6)に比べ、12.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)55.3で、前期(-47.9)に比べ、7.4ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)51.9で、前期における今期の営業利益見通し(-60.9)に比べ、9.0ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.3 で、前期 (+1.1) に比べ、1.2 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.9 で、前期 (-35.0) に比べ、0.9 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)35.3 で、前期 (-36.5) に比べ、1.2 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)2.7 で、前期 (-0.9) に比べ、1.8 ポイント「不足」が拡大した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 - 製造業 -

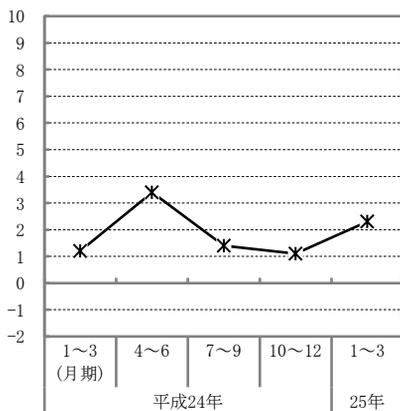


図13 資金繰り状況DIの推移 - 製造業 -

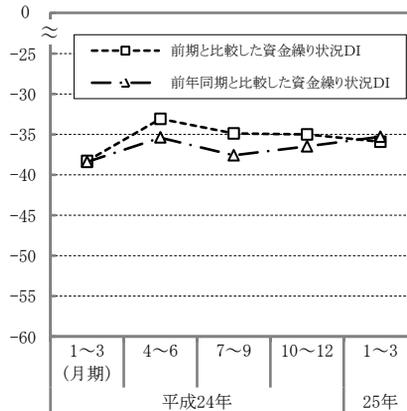
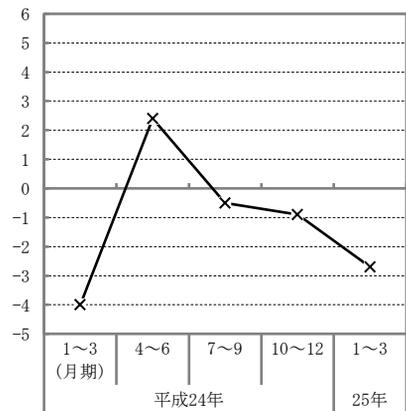


図14 雇用状況DIの推移 - 製造業 -



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成25年1～3月期）の業況判断DIは (-)70.3 で、前期（平成24年10～12月期） (-67.7) に比べ、2.6 ポイント悪化した。

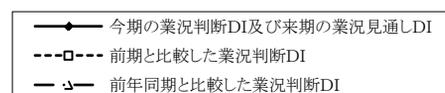
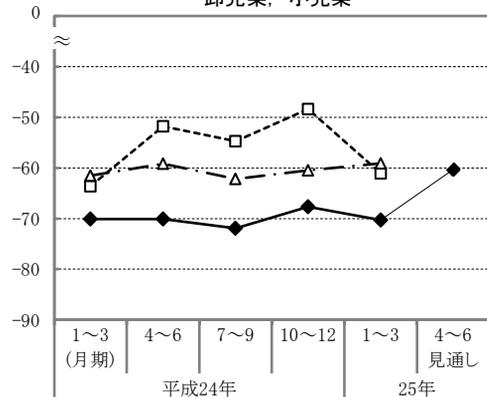
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)61.1 で、前期 (-48.4) に比べ、12.7 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成24年1～3月期）と比較した業況判断DIは (-)59.1 で、前期 (-60.5) に比べ、1.4 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年4～6月期）の業況見通しDIは (-)60.3 で、今期の業況判断 (-70.3) に比べ、10.0 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 - 卸売業、小売業 -



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

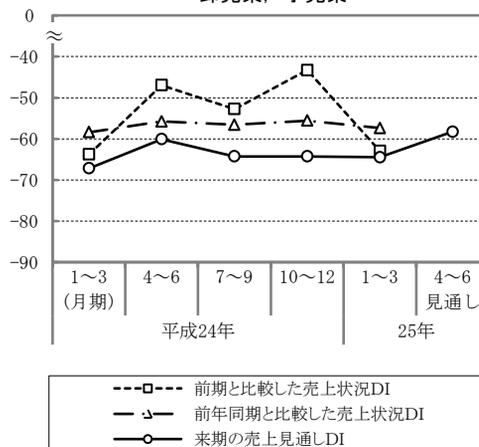
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)63.0で、前期(-43.3)に比べ、19.7ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)57.4で、前期(-55.6)に比べ、1.8ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.3で、前期における今期の売上見通し(-64.5)に比べ、6.2ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

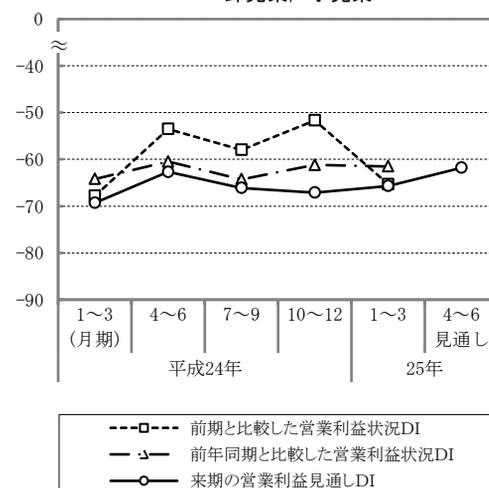
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)65.3で、前期(-51.7)に比べ、13.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)61.5で、前期(-61.2)に比べ、0.3ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)61.8で、前期における今期の営業利益見通し(-65.7)に比べ、3.9ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)6.2で、前期(+7.0)に比べ、0.8ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)41.3で、前期(-41.3)から横ばいとなった。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)43.9で、前期(-45.5)に比べ、1.6ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.1で、前期(-3.9)に比べ、1.2ポイント「不足」が拡大した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

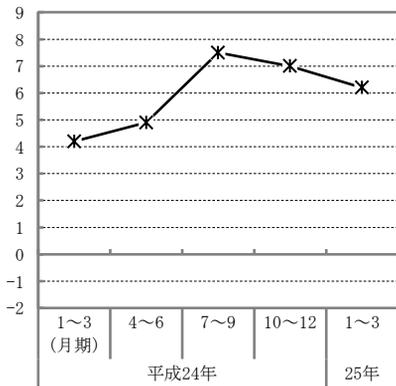


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業, 小売業-

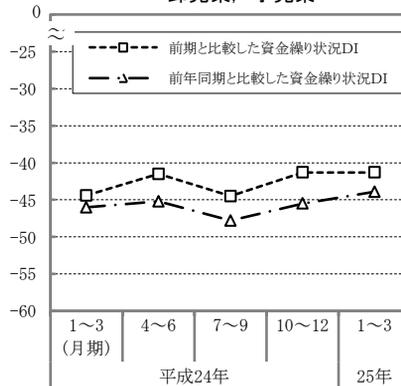
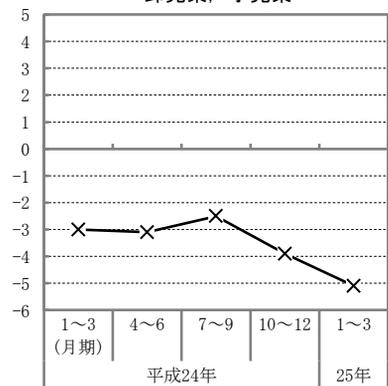


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業, 小売業-



4 宿泊業, 飲食サービス業

(1) 業況

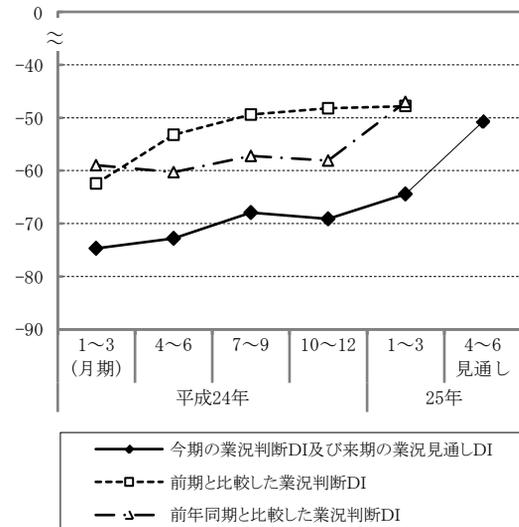
① 今期の業況

- ア 今期（平成25年1～3月期）の業況判断DIは(-)64.4で、前期（平成24年10～12月期）(-69.1)に比べ、4.7ポイント改善した。
- イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.8で、前期(-48.2)に比べ、0.4ポイント改善した。
- ウ 前年同期（平成24年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)47.0で、前期(-58.1)に比べ、11.1ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年4～6月期）の業況見通しDIは(-)50.7で、今期の業況判断(-64.4)に比べ、13.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(2) 売上の状況

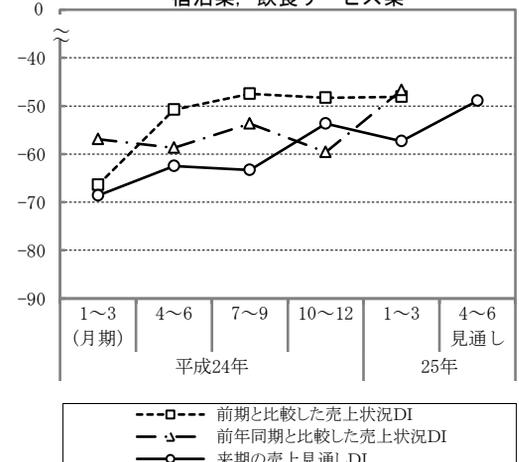
① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況DIは(-)48.1で、前期(-48.3)に比べ、0.2ポイント改善した。
- イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)46.7で、前期(-59.6)に比べ、12.9ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)48.9で、前期における今期の売上見通し(-57.3)に比べ、8.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業, 飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

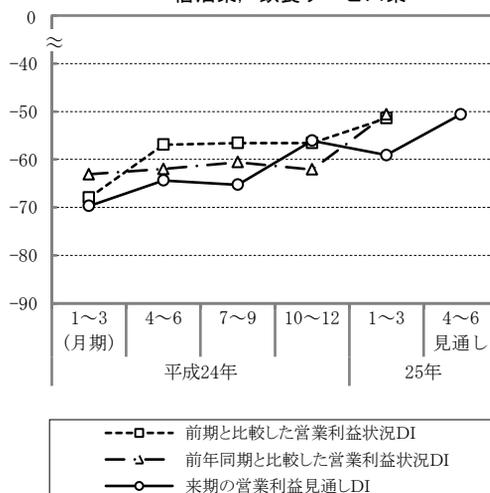
ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)51.4 で、前期 (-56.6) に比べ、5.2ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)50.6 で、前期 (-62.1) に比べ、11.5ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは (-)50.6 で、前期における今期の営業利益見通し (-59.1) に比べ、8.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.6 で、前期 (+1.0) に比べ、1.6ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)38.1 で、前期 (-39.1) に比べ、1.0ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)40.9 で、前期 (-43.3) に比べ、2.4ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.9 で、前期 (-4.4) に比べ、0.5ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

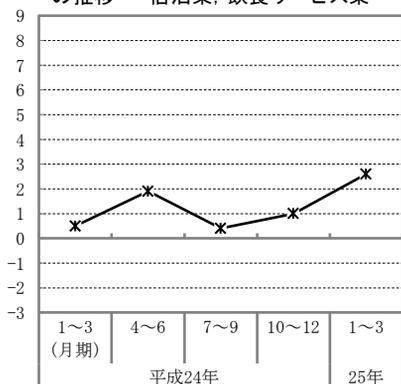


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

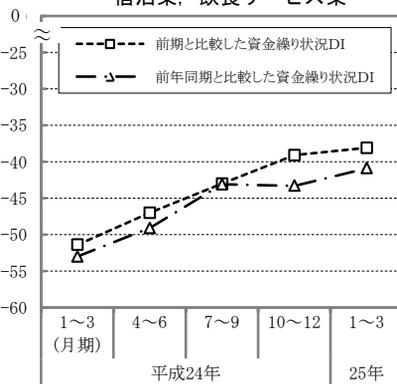


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

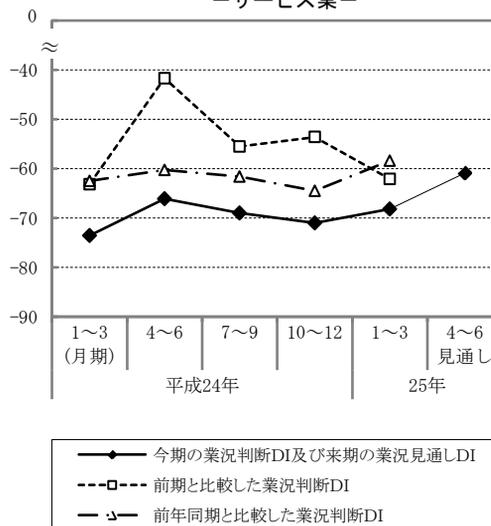
① 今期の業況

- ア 今期（平成25年1～3月期）の業況判断DIは(-)68.2で、前期（平成24年10～12月期）(-71.0)に比べ、2.8ポイント改善した。
- イ 前期と比較した業況判断DIは(-)62.1で、前期(-53.6)に比べ、8.5ポイント悪化した。
- ウ 前年同期（平成24年1～3月期）と比較した業況判断DIは(-)58.4で、前期(-64.5)に比べ、6.1ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成25年4～6月期）の業況見通しDIは(-)60.9で、今期の業況判断(-68.2)に比べ、7.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

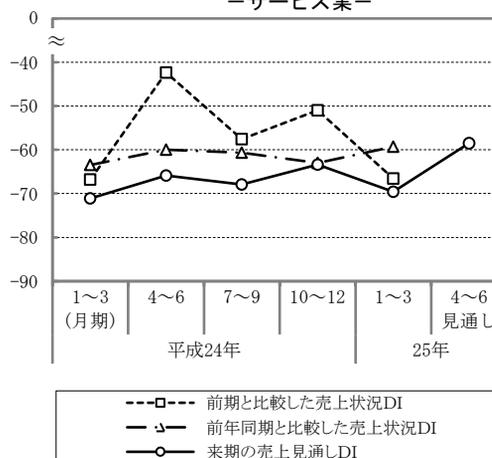
① 今期の売上の状況

- ア 前期と比較した売上状況DIは(-)66.6で、前期(-51.0)に比べ、15.6ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)59.3で、前期(-63.0)に比べ、3.7ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.5で、前期における今期の売上見通し(-69.6)に比べ、11.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

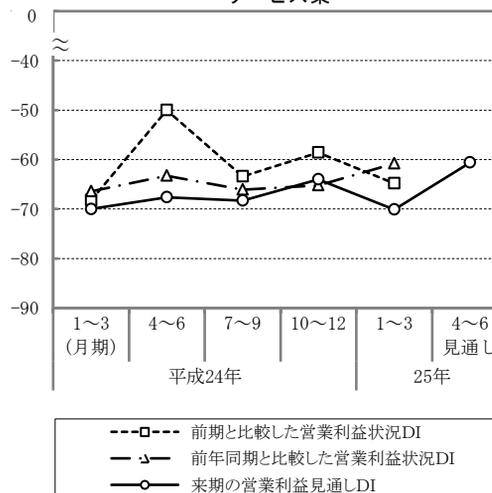
① 今期の営業利益の状況

- ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)64.8で、前期(-58.6)に比べ、6.2ポイント悪化した。
- イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)60.8で、前期(-65.2)に比べ、4.4ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)60.6で、前期における今期の営業利益見通し(-70.1)に比べ、9.5ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+) 0.9 で、前期(+ 0.4)に比べ、 0.5 ポイント「過剰」が拡大した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-) 38.5 で、前期(- 39.8)に比べ、 1.3 ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-) 39.4 で、前期(- 43.6)に比べ、 4.2 ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-) 4.2 で、前期(- 1.9)に比べ、 2.3 ポイント「不足」が拡大した。

図30 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -サービス業-

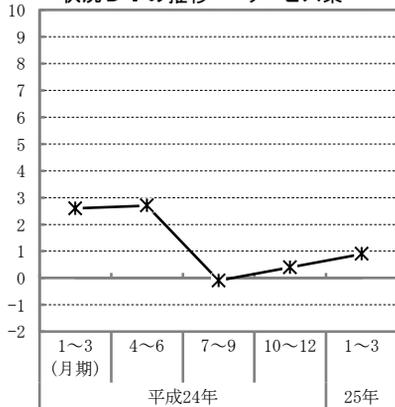


図31 資金繰り状況DIの推移 -サービス業-

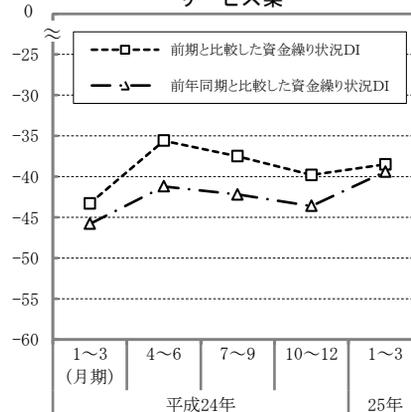
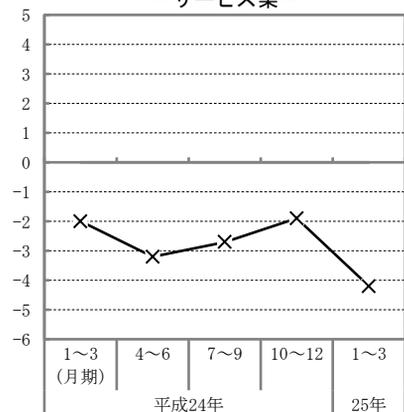


図32 雇用状況DIの推移 -サービス業-



Ⅲ 営業収支

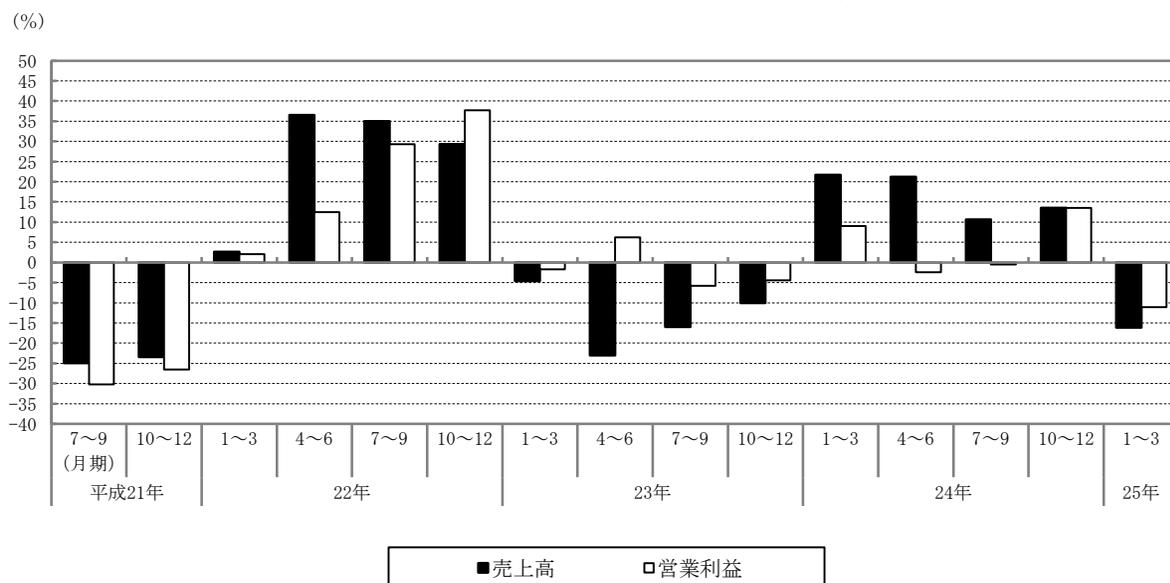
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は208万6000円で、これに対する費用は売上原価が68万4000円、営業費が83万8000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は56万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)16.1%で、5期ぶりに減少した。また、営業利益は(-)11.1%で、2期ぶりに減少した。

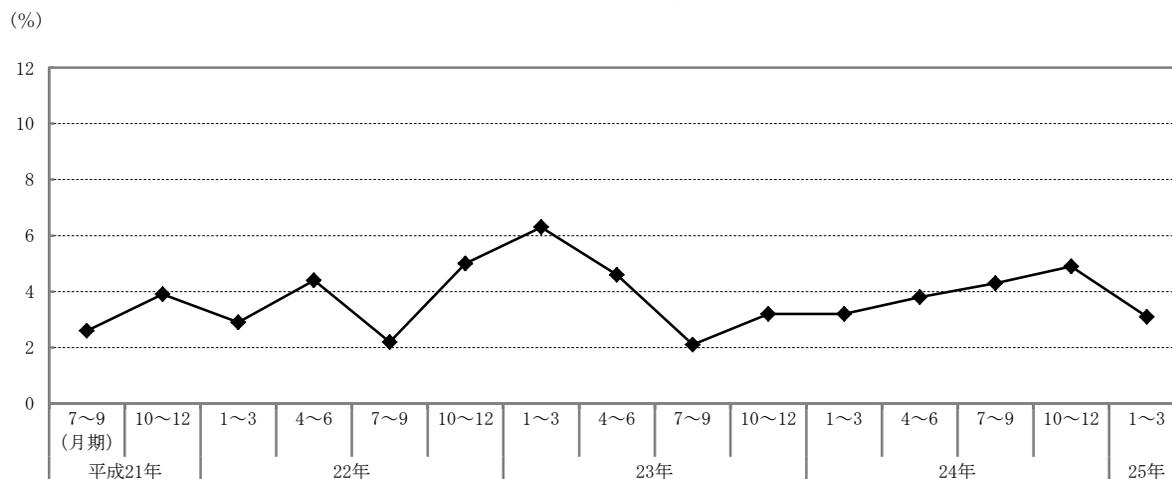
図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 - 製造業 -



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万5000円で、前年同期(7万9000円)を下回った。また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は3.1%で、前年同期(3.2%)を0.1ポイント下回った。

図34 設備投資率の推移 - 製造業 -

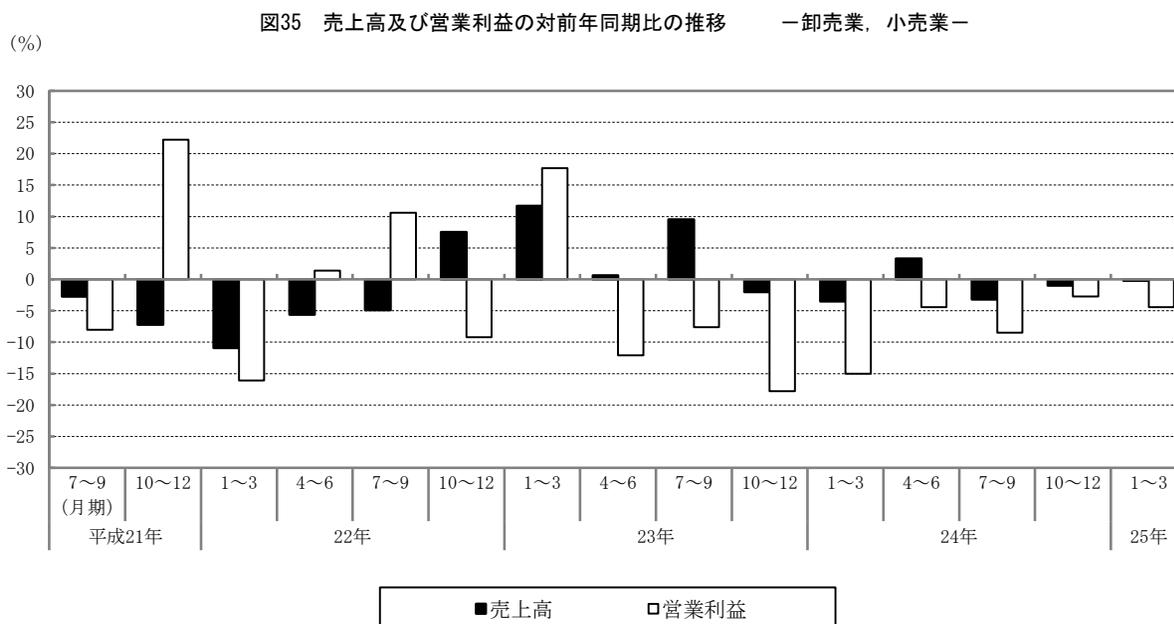


2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

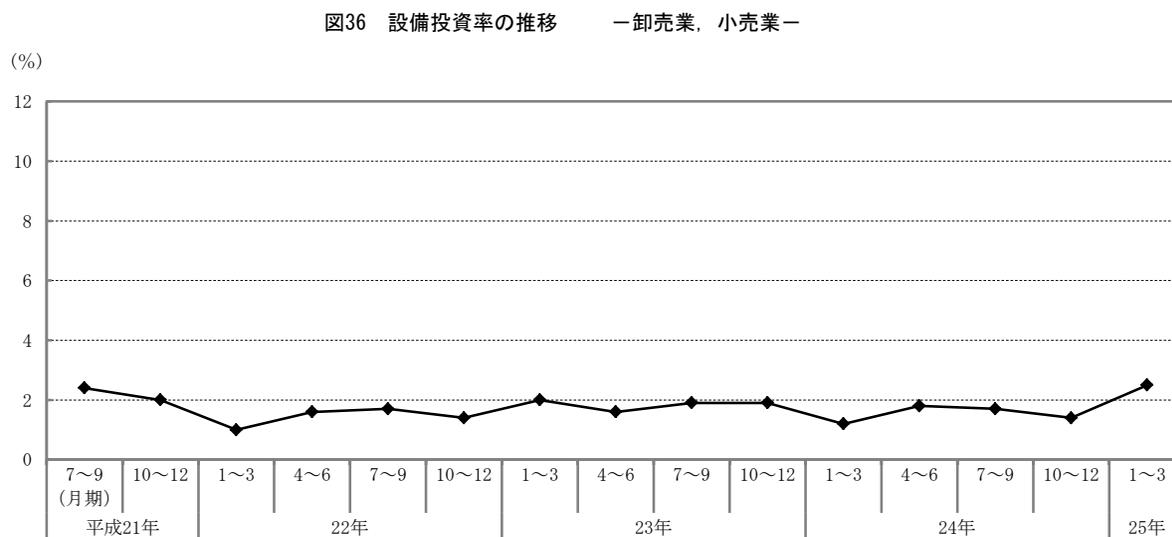
今期の1事業所当たりの売上高は394万8000円で、これに対する費用は売上原価が273万4000円、営業費が84万6000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は36万8000円となった。営業利益は、比較可能な平成10年4～6月期以来、最低となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)0.2%で、3期連続で減少した。また、営業利益は(-)4.4%で、8期連続で減少した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は10万円 で、前年同期(4万9000円)を上回った。また、設備投資率は2.5%で、前年同期(1.2%)を1.3ポイント上回った。



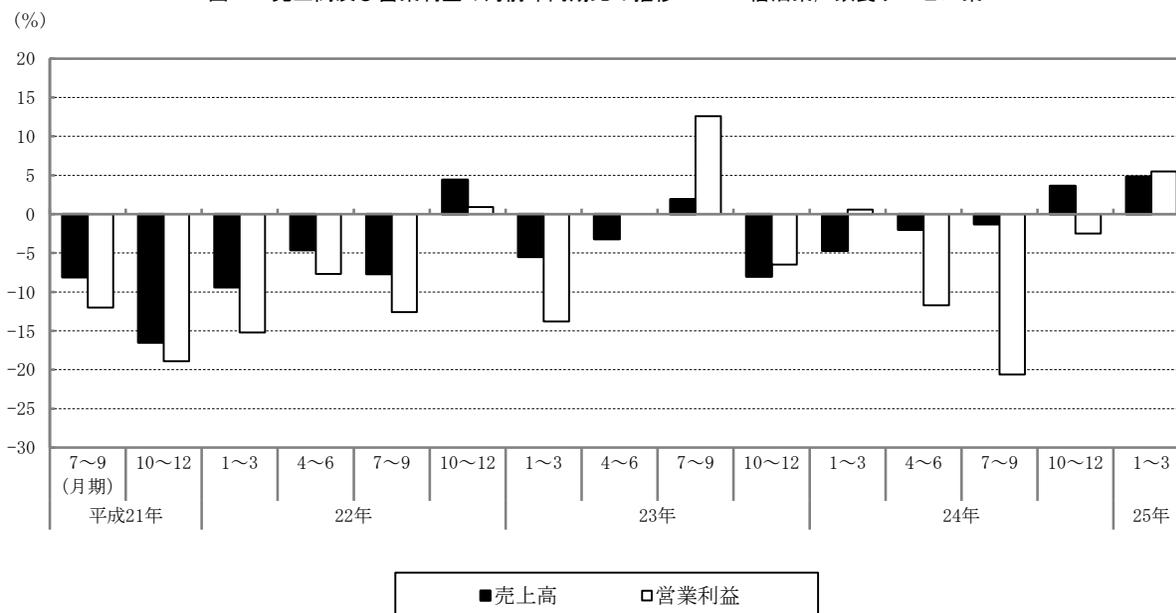
3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は205万8000円で、これに対する費用は売上原価が85万8000円、営業費が81万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万3000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 4.8% で、2期連続で増加した。また、営業利益は(+) 5.5% で、4期ぶりに増加した。

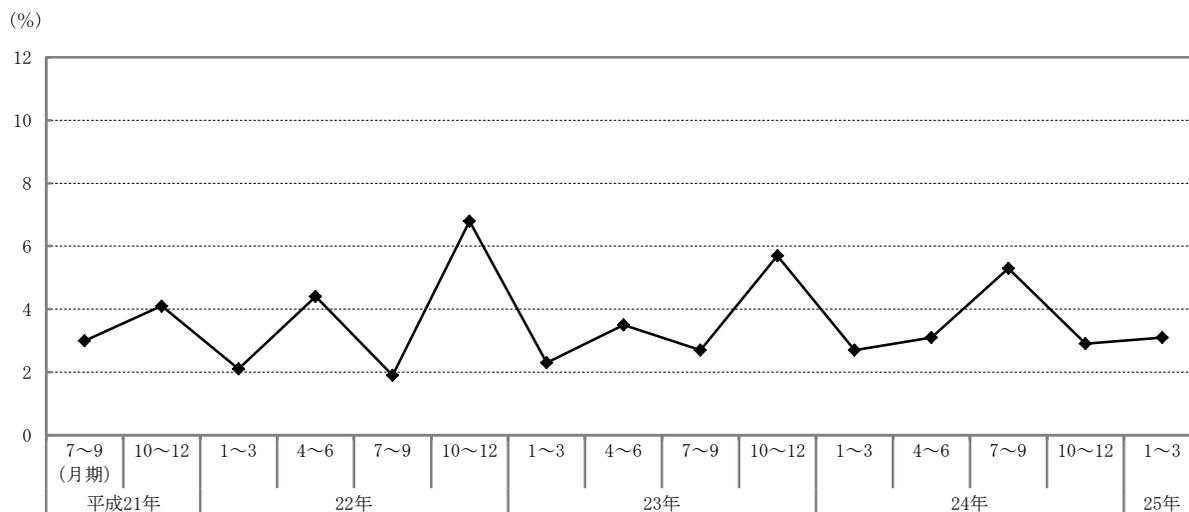
図37 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 宿泊業，飲食サービス業 —



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は6万4000円で、前年同期(5万3000円)を上回った。また、設備投資率は 3.1% で、前年同期(2.7%)を 0.4 ポイント上回った。

図38 設備投資率の推移 — 宿泊業，飲食サービス業 —



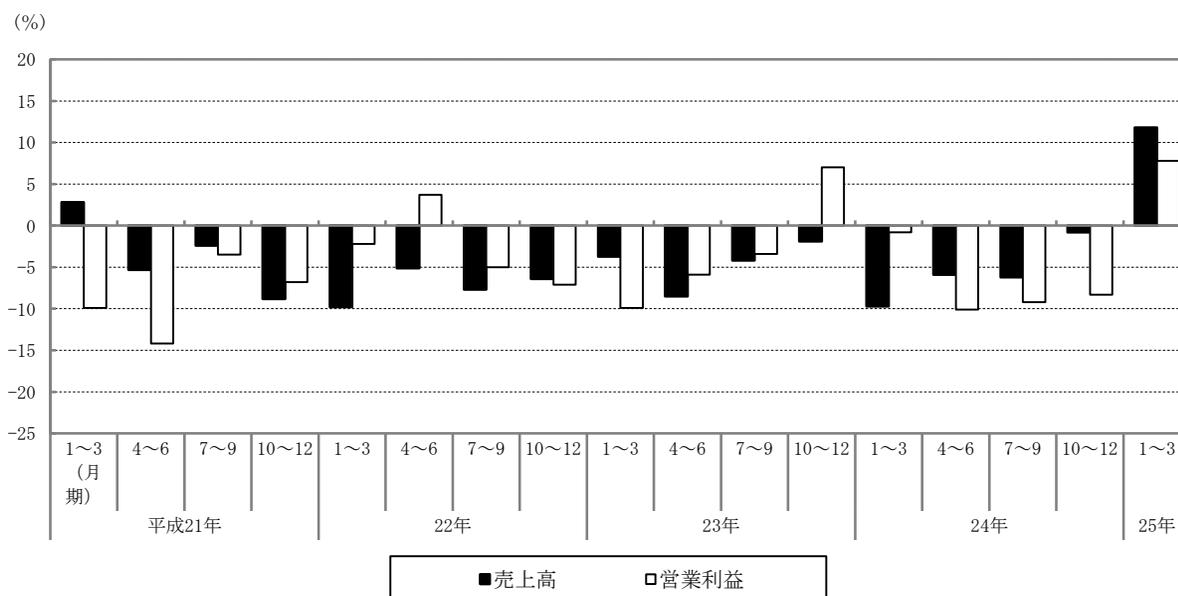
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は123万2000円で、これに対する費用は売上原価が20万8000円、営業費が59万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 11.8% で、16期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 7.8% で、5期ぶりに増加した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 —サービス業—



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は12万5000円で、前年同期(5万6000円)を上回った。また、設備投資率は 10.1% で、前年同期(5.1%)を5.0ポイント上回った。

図40 設備投資率の推移 —サービス業—

